

消防 鹿角

第34号 平成25年 春夏季号
編集・発行：鹿角広域行政組合消防本部・消防署
秋田県消防協会鹿角支部

鹿角広域行政組合消防本部管内
出動件数
平成24年1月～平成24年12月末
総出動件数 1688件

①火災	13件
②救急	1426件
③救助	33件
④自然災害	47件
⑤遭難捜索	19件
⑥その他	150件

除雪ボランティア 花輪第一中学校生徒



春の火災予防運動が始まります

暖かくなってくる4月、火の取扱いに対する注意心が緩みがちになります。また、春先のこの時季は、空気が乾燥し風の強い日が多いことから火災が発生しやすくなっています。火の取扱いには十分注意しましょう。

※火災予防週間中の7時と19時には、サイレン又は警鐘が鳴ります。

火災と間違わないようにご注意ください。

消防団による火災想定訓練が行われます。

①場所：鹿角市・鹿角市役所周辺

小坂町・康楽館

②日時：平成25年4月7日（日）

鹿角市・6時

小坂町・5時30分

また、訓練後の午前中に消防車による防火パレードを行います。

全国統一防火標語 消すまでは 出ない行かない 離れない

火災予防週間
平成25年4月7日（日）
～4月13日（土）

火災・救急は119番へ!!

消防立入検査(査察)について!

消防法令に基づいて事業所（旅館、ホテル、店舗、飲食店、病院、学校、工場など）や、危険物施設等（ガソリンスタンドなど）に立ち入り、消防用設備（消火器、誘導灯、自動火災報知設備、避難器具など）及び防火管理の状況について、火災予防上必要な指導を行っています。

また、一般住宅の防火対策の一環として、一人暮らし・高齢者世帯の防火指導を行い出火防止の推進を図っています。

これからも、防火指導に努め、皆さんと一体となって「火災の無いまちづくり」に努めていきますのでご協力をお願いします。

消防通信 龍吐水 りゅうどすい

資機材搬送車配備!



運用目的

- ・災害現場への資機材搬送や撤収時の資機材を回収。・災害現場での災害対策本部、後方支援活動。
- ・緊急援助隊派遣先での後方支援活動、作戦及び部隊調整。・多数傷病者発生時の一時救護所。

災害情報メール配信しています

鹿角市、小坂町で発生した災害情報を携帯電話やパソコンにeメールで配信しています。

登録のしかたは市・町のメールアドレスへ空メールを送信するだけ!

返信されたメールに記載されたURLへ接続し、希望する情報をチェックし、登録完了です。

氏名や連絡先を入力する必要はありません。

右のQRコードでもURLを取得できます。

詳しくは、鹿角市・小坂町のホームページをご覧ください。

・消防団員の方は消防署でも登録できます。

※消防団員の方が登録する際は、消防署へご連絡下さい。

情報配信メール登録用eメールアドレス

鹿角市：e-kazuno@xpressmail.jp 小坂町：e-kosaka@xpressmail.jp

メール登録用QRコード

鹿角市



小坂町



第12回消防団幹部候補中央特別研修

鹿角市消防団 団本部 班長 安保千夏

平成25年2月13～15日にかけて行われた「第12回消防団幹部候補中央特別研修」に鹿角市消防団の女性団員として初めて参加させていただきました。研修では、消防団活動に関わる様々な事を学びながら、他地域の女性団員との情報交換を行いました。どこの女性消防団員も男性団員に負けないくらい活発に活動していることが分かり、「鹿角市の女性団員もがんばらなきゃいけない！」と気が引き締まりました。

消防団員が習得する応急手当や防災に関する知識はいつか必ず誰かを救います。

一緒に誰かを救いませんか？
「鹿角市にお住まいの皆さん、
入団をお待ちしております。」



研修風景

・応急手当
(AEDトレーニング)



安保千夏さん（写真中央）

救命講習が 新しくなりました。

① 心肺蘇生法の手順

より胸骨圧迫を重視した内容になりました。

② 救命入門コースの追加

内容： 成人の心肺蘇生法とAEDの取扱いを中心に勉強します。おおむね10歳以上が対象で、参加者には、参加証を配布します。

時間：90分

③ 応急手当WEB講習の開始

内容： 応急手当全般を勉強します。こちらは講習を受けに行く時間が無い方にオススメです。インターネット環境さえあれば、パソコンやスマートフォンを使って動画や画像を見ながら問題に答えていき、最後のテストに合格すると、受講証明書を印刷することが出来ます。

時間：約1時間で終わります。

④ 普通救命講習Ⅲの追加

内容： 新生児から小児までの応急手当を中心に勉強します。小さなお子さんと接することが多い方にオススメです。修了証も配布します。

時間：3時間

さらに

救命入門コースとWEB講習だけでは不安という方は、追加で2時間、実技を中心とした講習を受けると、普通救命講習Ⅰの修了証がもらえます。

ただし、救命入門コースは参加証配布から1年以内、WEB講習は証明書印刷から1ヶ月以内に受講して下さい。 お問い合わせは消防署まで！

大切な家族の命を守るため
あなたの命を守るため
財産を守るため
地域の安心安全のために
必ず設置しましょう。

住宅用火災警報器は平成23年6月1日をもって全ての住宅に設置が義務付けられました！

住宅用火災警報器の電池の寿命は製品によって異なりますが、5～10年とされています。早期に設置されたお宅は製品によっては電池切れの恐れがあります。電池切れになった際はアラームで知らせますので、新しい警報器または、電池を交換してください。



ピッ ピッ ピッ
電池切れです

『今年の夏は・・・。』

夏といえば、楽しいことがいっぱいです。しかし、楽しいことばかりではありません。夏といえば、熱中症や水難事故などが多くなる季節です。何を気をつけるべきか、もう一度確認しましょう。

◆熱中症は、炎天下、高温多湿の中での作業や運動中になりやすい、身体の障害です。

『症状は？』

・発汗、めまい、吐き気や嘔吐、部分的なけいれん、頭痛、腹痛、疲労感、興奮、皮膚の蒼白などが主な症状。さらに状態が悪くなると、40℃以上の高熱や意識障害、皮膚が乾燥し赤く熱くなる、呼吸や脈が早くなる、下痢、血圧の低下などの症状が起こる。

『やるべき応急手当は？』

・涼しいところで安静にする。・水分補給（スポーツドリンクや水500mlに食塩5gを溶かした食塩水）
・濡らしたタオルやガーゼを皮膚に付けて、扇風機などで送風する。・119番通報する。

『注意することは？』

・夏は熱中症になると思って行動する！・水だけを補給しない。スポーツドリンクなどにする。
・様々な症状があるが、夏の運動中や外での作業中に具合が悪くなったらす熱中症を疑いましょう。
・体温が下がる場合もある。・子供の車内放置をしない。・家の中でもなる。・死亡することもある。

◆水難事故は、河川や湖、用水路などが主な発生場所ですが、海での事故も同様に多発する時期です。

『注意点』

・水に溺れる事故は、子供の死亡原因の上位です。・子供は10cmの深さがあれば、溺れます！
・酔った勢いで川に入らない！・1人では、泳いで助けに行かない！ロープや浮き輪を投げる。
・天候が悪くなってきたら、すぐ水辺から離れる！

⚠山火事に注意

空気が乾燥し風が強くなるこの時季、山火事に特に注意が必要です。山火事は火の粉が広範囲に広がるため延焼スピードが速く消火活動が大変困難となります。次のことに注意し火事を起こさないようにしましょう。

- ◆枯れ草等のある火災の起こりやすい場所で、たき火はしないこと。
- ◆たき火から離れる時は、完全に火を消すこと。
- ◆強風・乾燥時は、たき火・火入れはしないこと。
- ◆タバコの吸い殻は、必ず消して始末し、ポイ捨てはしないこと。
- ◆火遊びはしない、させないこと。



※あなたのちょっとした不注意
により大切な自然が焼き尽く
されることのないよう
一人一人が気を付けましょう！！

遭難に注意⚠

山菜採りによる山での遭難が毎年発生しています。絶対に迷わないという過信は持たず以下のことに注意しましょう。

昨年の遭難捜索件数：19件

<入山前>

- ◆家族に行き先や帰宅時間を伝える。
- ◆事前に天候を確認し、悪天候時は入らない。
- ◆目立つ服装をし、寒さ対策を万全にする。（白い服装が目立ちます！！）

- ◆水や食料、持病の薬を持つ。
- ◆携帯電話、ライター、発煙筒などを持つ。
- ◆クマ対策をする。（鈴、笛、ラジオなど）

<入山時>

- ◆一人では、山に入らない。
- ◆仲間同士で、声を掛け合いながら行動する。
- ◆自分の体力や体調に合わせ無理はしない。
- ◆危険な場所は避け、日没前に下山する。
- ◆迷ったら動き回らず、落ち着いて行動する。

